

6 検知センサーの設置（つづき）		参照 取扱説明書			
! 取扱説明書を参照しながら設置してください▶▶▶▶▶		MP3 音声合成内蔵 LED 回転灯	壁面取付 ブラケット	受信ユニット	屋外用方向判別式 パッシブセンサ送信機
		RFV-100F-R	RF-001	RX-10A	TX-129A
6	<b>検知方向を確認する</b> 検知方向を変えたい場合は切り換えをしてください。  ! センサーに向かって左側が A、右側が B。出荷時は A から B へ移動したときに検知します。				 7 機能の説明 → 検知方向切換
7	<b>検知センサーを設置する</b> フォークリフトを検知したい場所に設置してください。センサーはカバーロックねじがある方が下側です。		—	—	 2 各部の名称  5 取付方法 → ①③⑤⑥のみ ②は配線済み。 ④は結線済み。
8	<b>リフトだけを検知したい時</b> 人を検知させず、リフトだけを検知させたい場合、人の身長より高く、リフトの全高より低い位置でセンサーが検知するように設置してください。		—	—	—
9	<b>検知センサーの動作を確認する</b> コンセントを差し込み、センサーの動作を確認してください。  ! 方向検知すると赤色ランプが約 5 秒間点灯します。  ! コンセント差し込み後、機器が安定するのに約 1 分間かかります。		—	—	 9 動作確認
10	<b>受信ユニットの作動(受信)を確認する</b> 信号を受け取ると、動作表示灯が赤点灯します。		—	—	 8 動作確認
11	<b>音声付回転灯の作動(受信)を確認する</b> 信号を受け取ると、回転灯が点灯し音声 flows.  ! フォークリフトが通ります、ご注意ください		 6-6 再生方法	—	—
特殊な設定	<b>検知エリアを微調整したい時</b>	—	—	—	 4 検知エリア → 2 エリア調整
	<b>音声付回転灯の警報時間を調整したい時</b>	—	—	 7 機能説明	—

接近警報システム(方向検知タイプ)

スタートガイド  
START GUIDE

～はじめて設置されるお客様へ～

この度は本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございました。  
本書は設置の手順を記した要領書です。各機器の取扱説明書を参照しながら設置を進めてください。

! ご利用上の注意

- 接近警報システムは、死角の多い建屋・敷地内の安全環境をサポートするためのものであり、事故を防止するものではありません。
- 本製品は防雨構造ですので屋外設置が可能です。ただし、センサーを『横付けでの取付け』『天井から地面に向けた取付け』では非防雨になります。また防水構造ではありませんので、ホースなどで直接水をかけないでください。
- 常時水のかかる場所や湿気の多い環境で使用しないでください。
- 次のような場所に設置されると誤報や失報の原因となるので避けて設置してください。
  - ・強い光(日光、スポットライト)が直接または反射して当たる場所
  - ・急激な温度変化のある場所(冷暖房器具の吹出し口など)
  - ・検知エリア内にフォークリフト以外の動くものがある場所
  - ・強い振動や電氣的雑音が発生しやすい場所
  - ・検知エリア内に遮蔽物(ガラス、透明樹脂などを含む)がある場所
- 強い電界や磁界が発生する機械の近くでは正常に動作しない場合があります。また、本機から発生する磁界や磁気により近くの機器が正常に動作しない場合があります。
- センサーから受信機までの距離は見通しの良い場所で約100mとなります。

フォークリフトの安全対策

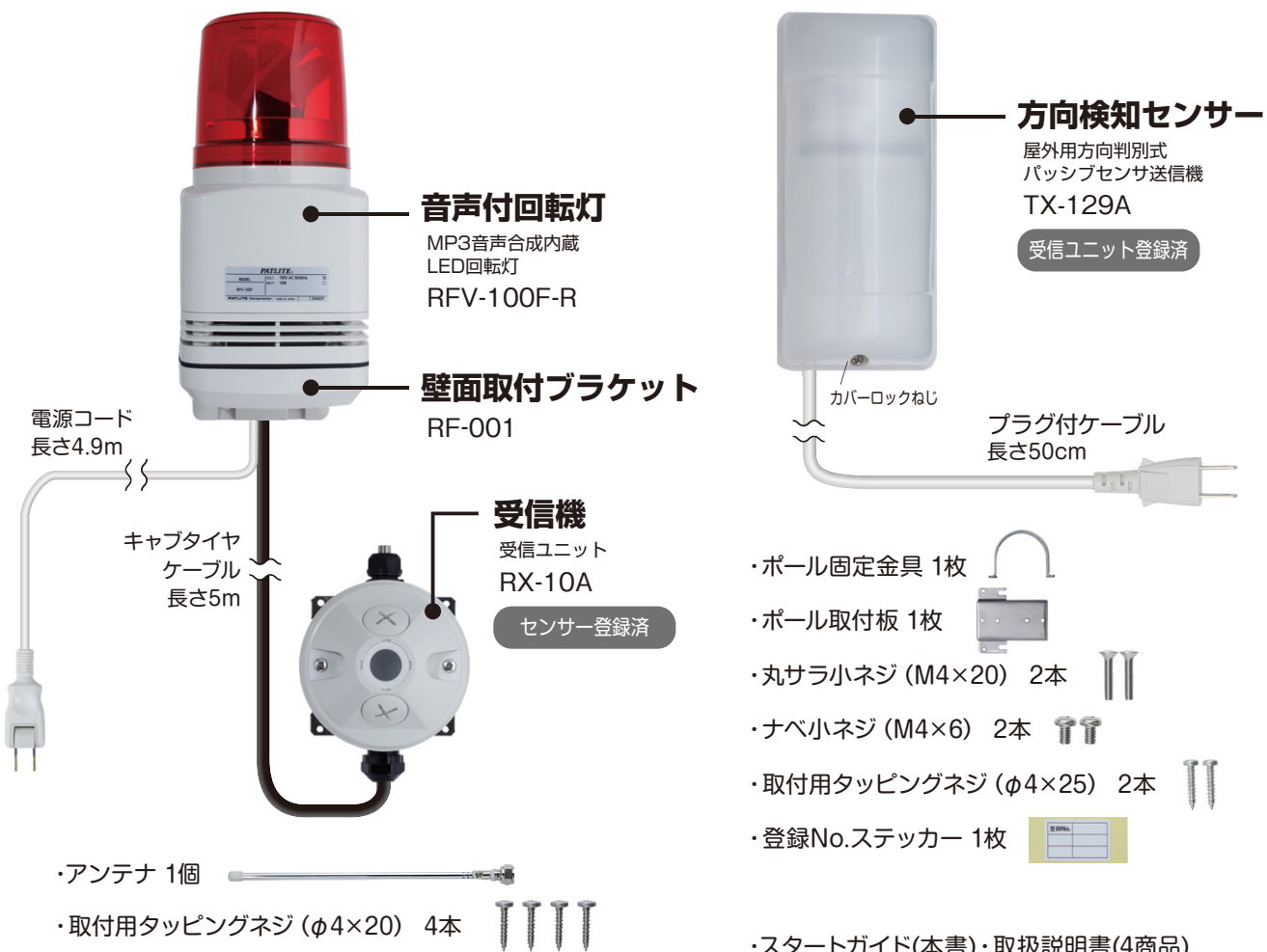


災害ゼロをめざして！  
フォークリフトの安全対策や  
災害事例・安全資料はこちら



株式会社ツールマート  
〒963-0531 福島県郡山市日和田町高倉字大口原18-90  
TEL.024-968-0017 FAX.024-958-3439  
<https://www.toolmart.jp/anzen/>

## 1 内容物の確認



※必ず各機器取扱説明書を参照しながら設置してください。

※付属品以外の取付用のビス、マグネットはお客様でご用意ください。(取扱説明書に記載されている取付オプションは販売していません)

※受信ユニットでの送信機の登録・配線作業、センサーでの発報登録・配線作業、音声付回転灯の配線作業は不要です。

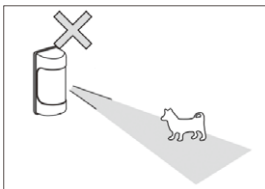
※壁面取付ブラケットは、音声付回転灯に取り付けられています。

## 2 前もって検知警報させたい場所を決める

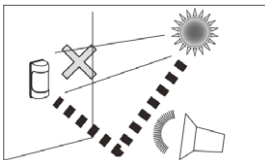
音声付回転灯（受信ユニットと一体）とセンサーには電源が必要です。それぞれAC100Vのコンセント差し込み口を確保してください。



・センサーと受信ユニットの通信距離は見通し距離で**100m以内**です。建物の構造や送信機と受信ユニット間の障害物など周囲の環境によって短くなる場合があります。



・フォークリフトだけを検知させる場合には、センサーの検知エリアに他の移動体が入らないようにしてください。



・温度(気温)変化の著しい場所では、誤検知が発生します。

### ③ 必ずお守りください

各機器取扱説明書の「ご使用上の注意」  
「安全のために必ずお守りいただきたいこと」を確認してから作業を行ってください。

1. 安全のために

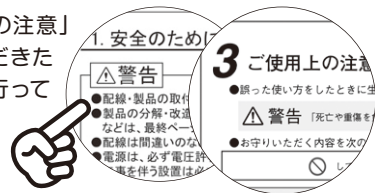
3 ご使用上の注意

● 誤った使い方をしたときに生

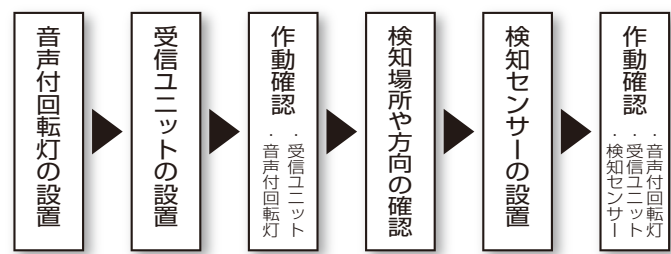
警告

● 配線・製品の取付  
● 製品の分解・改造  
などは、最終ペー

警告 [死亡や重傷を




## 4 主な作業手順(おおまかな流れ)



## 5 音声付回転灯と受信ユニットの設置

参照  取扱説明書

		MP3 音声合成内蔵 LED 回転灯	壁面取付 ブラケット	受信ユニット	屋外用方向判別式 パッシブセンサ送信機	
		RFV-100F-R	RF-001	RX-10A	TX-129A	
1	<b>音声付回転灯を設置する</b> 設置場所に音声付回転灯を設置してください。	 5 配線方法 →配線済です	 3 取付方法	 6 配線方法 →配線済です	—	
2	<b>受信ユニットを設置する</b> 音声付回転灯の下などケーブルが届く範囲で、動作表示灯が見える位置に設置してください。  <b>i</b> アンテナ部分を上にして設置してください。 (ケーブル接合部から本体内部への雨水侵入を防ぐため)  <b>i</b> アンテナは破損を防ぐため、本体設置後の取付けをおすすめします。		—	—	 4 送信機の登録 →登録済です  5 取付方法	—
3	<b>音声付回転灯の作動を確認する</b> コンセントを差し、テストスイッチを押して、音声内容を確認してください。  <b>🔊</b> フォークリフトが通ります、ご注意ください  <b>i</b> 出荷時音量は最大になっています。音量を下げる場合はボリュームのツマミを左へ回してください。	  	 6-1 カバー開閉  6-4 テストスイッチ   6-3 音量調整	—	—	—
4	<b>受信ユニットの作動(通電)を確認する</b> 動作表示灯が緑点灯していることを確認してください。		—	—	 8 動作確認 →1のみ	—

## 6 検知センサーの設置

参照  取扱説明書

検知センサーの設置		MP3 音声合成内蔵 LED 回転灯	壁面取付 ブラケット	受信ユニット	屋外用方向判別式 パッシブセンサ送信機
<div> <div></div> <div>取扱説明書を参照しながら設置してください▶▶▶▶▶</div> </div>		RFV-100F-R	RF-001	RX-10A	TX-129A
5	<div> <div>検知場所を確認する</div> <div> <p>センサーが誤作動を起こしやすい場所は避けて設置してください。</p> </div> </div>	—	—	—	<div> <div></div> <div> <p><b>3 ご使用上の注意</b> →誤報や失報の原因となる設置場所</p> <p><b>8 登録</b> →登録済です</p> </div> </div>